

# ガラス工芸の精華

平成21年度市町村立美術館活性化事業 第10回共同巡回展  
北海道立近代美術館ガラスコレクション

## 第I章 プロローグ

ヴェネツィア、イギリス、オーストリアなどのガラス

## 第II章

アール・ヌーヴォーのガラス

ガレ、ドームなど

エミール・ガレ  
「虫文花器」1889年



ドーム「孔雀文花器」  
1914年頃



岩田藤七「貝」  
1974年

## 第IV章

日本のガラスの先駆者たち

岩田藤七、各務鑛三、藤田喬平、岩田久利

ガラスの起源は、4500年以上も昔にさかのぼると言われています。ガラスの透明性、光を透過したり、反射、屈折させる独特の性質は、時代や地域を越えて人々を魅了してきました。

15世紀にヴェネツィアで花開いた繊細優美なガラス工芸は、ヨーロッパ中で愛され、王侯貴族の羨望的となりました。その秘法は各地へ伝わり、やがてボヘミア、イギリスなどでも独自のガラス工芸が生まれていきます。そして19世紀、ヨーロッパ社会の近代化と足並みを揃えて盛り上がりを見せたアール・ヌーヴォー様式は、ガラス工芸にも大きな変革をもたらしました。ガレ、ドームらによるガラス工芸の新しい魅力の探求は、アール・デコの時代に引き継がれ、ラリックによるデザインを意識した方向性や、マリノやテュレらの個人作家による活動の先駆けがみられるようになります。

戦後、ガラスが芸術表現の一素材として迎えられると、スタジオガラス運動が世界中に広がって行きました。また、岩田、各務らによる日本のガラス工芸の新しい展開も忘れることができません。

全国4館を巡回する本展覧会では、北海道立近代美術館が収集を続けてきた近現代のガラスコレクションから各時代を代表する優品を選び、一堂にご覧頂きます。

### 交通案内

- 電車バス/JR和倉温泉駅前から能登島交通「のどま臨海公園行き」バスに乘車、約30分。「美術館前」下車すぐ。
- 自動車/能登有料道路の徳田大津JCT経由、能越自動車道の田鶴浜料金所を過ぎ、和倉ICで左折し、20分。
- 飛行機/能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間。片道1,300円。要予約。



### 【次回展覧会】

能登島ガラスコレクション展

「色彩のパレード」

10月31日(土)～2010年3月15日(月)

— ガレから現代まで —

## 第III章

アール・デコのガラスと  
新たな胎動

ラリック、マリノ、ドームなどのガラス  
とスウェーデンのガラス



ルネ・ラリック「ラジエータ・キャップ・勝利」1928年



インゲボリィ・ルンディーン「花器・りんご」1957年

## 第V章

多様化する現代のガラス

ヨーロッパ、アメリカ、日本の作家たち



エーヴァルド・ダールスクーグ  
「蓋付台鉢・メリーゴランド」1926年

エルヴィン・アイシュ  
「インター=ネット」  
1997年



高橋禎彦  
「花のような」  
2002年

**講演会** 聴講無料(高校生以上は観覧料要)・申込不要  
9月20日(日)14時～15時30分 館内ロビー  
「ガラス芸術の巨匠たち—ガレから現代まで—」  
講師:水田順子氏(元北海道立旭川美術館副館長・ガラス工芸史)

**ギャラリートーク** 高校生以上は観覧料要  
10月13日(火)14時～、10月20日(火)14時～  
当館学芸員による作品解説

### わくわくワークショップ

場所:館内ワークショップコーナー

- ①「華麗なるガラス彫刻に挑戦! 削って作るオリジナルグラス」  
参加費無料(高校生以上は観覧料要)・申込不要  
9月22日(火・休日)、23日(水・祝日)  
受付:10時～11時30分、13時30分～15時30分  
展示作品にちなみ、電動ルーターでガラスを削ってオリジナルのグラスを作ります。(1人1個まで)
- ②「エミール・ガレもびっくり! 世界にひとつのガラスアート」  
参加費無料・要申込、先着順(9月1日(火)9時から電話受付)  
対象:小学校高学年～中学生  
□10月3日(土)13時30分～16時30分  
「ガラスの迷画」 講師:池本一三氏(現代ガラス作家)  
ガラスのお皿に好きな絵を削いて焼付けます。  
□10月4日(日)13時30分～16時30分  
「魅惑のあかり」 講師:西悦子氏(現代ガラス作家)  
ガラスの器と透明樹脂粘土でキャンドルスタンドを作ります。

**グラスハーブ・コンサート** 高校生以上は観覧料要・申込不要  
10月12日(月・祝日) 館内ロビー  
11時30分～12時、13時～13時30分、14時～14時30分  
演奏:farbe ～ふるあべ～  
グラスで奏でる不思議な音色で夢心地のひとつときを

**石川県能登島ガラス美術館**  
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10  
Tel (0767)84-1175 Fax (0767)84-1129  
http://www.city.nanoa.lg.jp/glass/index.html